

# フレックスタイム制をもっと活用しませんか？

政府では働く時間と場所の柔軟化に取り組んでいます。ワークライフバランスの実現を図るために、フレックスタイム制を有効に活用しませんか。勤務時間を柔軟に調整できますのでぜひ使ってみてください。テレワークとの併用も可能です。

こんな使い方も  
できます！

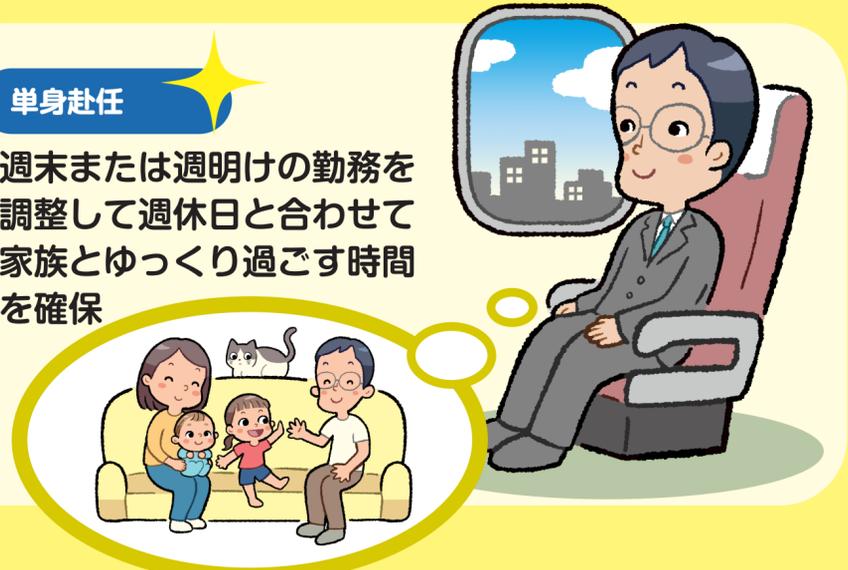
## 自己啓発・趣味

曜日ごとの勤務時間を調整して自己啓発や趣味の時間の確保に活用



## 単身赴任

週末または週明けの勤務を調整して週休日と合わせて家族とゆっくり過ごす時間を確保



## 育児

夕方の帰宅時間を早めに設定して子供のお迎えに



## 介護

平日に長めの時間を確保して通院の付き添いやお見舞いに活用



### 【通常の勤務】

1日 / 7時間 45分

### 【フレックスタイム制】



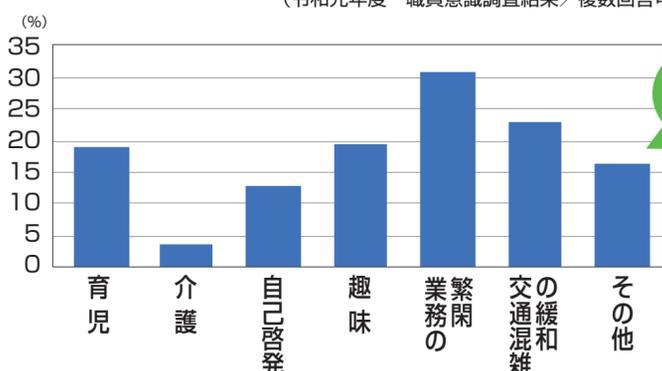
## POINT

- コアタイムは全員が勤務する必要があります。
- フレキシブルタイム(原則として7時~22時)はその範囲内で、
  - ・勤務時間を早める(遅らせる)こと
  - ・1日の勤務時間を短く(長く)して、その分他の日の勤務時間を長く(短く)すること等ができます。

## フレックスタイム制は原則として全ての職員が利用できます。

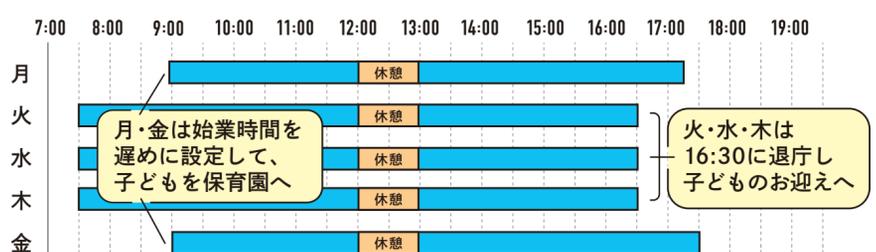
### フレックスタイム制を利用した理由は？

(令和元年度・職員意識調査結果 / 複数回答可)



幅広い目的での活用ができます

### フレックスタイム制の活用事例



原則として全ての職員がフレックスタイム制を活用して、仕事や家庭の状況に応じて、日々の勤務時間を柔軟に設定できます。

